



ラングストン通信⑦

ラングストン大学アメリカヤギ研究所

塚原洋子

10月上旬から急に陽射しが優しくなり、一日また一日と日が短くなってきました。オクラホマも秋が一番過ごしやすい季節です。11月2日(毎年11月の第1日曜日の朝2時)には、夏時間から通常時間に戻り、日本との時差が1時間増えました。毎年2回あるこの時間変更には戸惑うアメリカ人が必ずいるのが少し可笑しいのですが、今年も時計の針を戻さないまま出勤した人が数人いました。ハロウィーンの飾り付けがまだあちらこちらに残っていますが、感謝祭の七面鳥とクリスマスのお話で、町中がソワソワしているのを感じます。

私は、昨年から引き続き、体内寄生虫(捻転胃虫)に対する遺伝的抵抗性の改良を試みるプロジェクト(USDA Project Number 2012-38821-20176)の研究責任者を務めています。今年は、カンザス州、ミズーリ州、アーカンソー州から6件の協力農家と当研究所のヤギ2品種(ボア、スパニッシュ)を用いて実験を行っています。各農家のヤギとヒツジおよそ2500頭余り(総数)を対象に、協力農家を訪問してサンプルを収集する傍ら、各農家から提供された若雄畜約130頭に対する12週間の選抜試験を研究所付属農場で行っています。今年の選抜試験もそろそろ終盤を迎え、種雄を農家へ戻して2世代目の交配を始めているところです。

この夏から、ラングストンのヤギ19頭とガードドッグがオクラホマシティ市へフナーカナルの雑草除去に出かけています。雑草が生い茂ったこの用水路で市の職員が雑草除去を行う安全性を懸念した市から依頼を受けての派遣です。このヤギたち、テレビのニュースや新聞の記事で取り上げられ、ちょっとした有名人(ヤギ)になっています。8月中旬からは、ツイッターでつぶやき始めて、1000人を超えるフォロワーがいます。ツイッターアカウント@hefner_goats



スティルウォーター市

さて、今回は私が居住しているスティルウォーター市とオクラホマ州立大学(OSU)をご紹介します。スティルウォーターは、オクラホマ市の北北東80kmに位置する人口4.6万人の学園都市です。ラングストンから約20マイル(32km)、車で約30分の距離で、私は毎日車通勤しています。市の中心はOSU、学生、教員を含む大学関係者とその家族が、人口の大半を占めます。したがって、学生たちが帰省する夏休み期間中は、町中がひっそりと静かになります。また、スティルウォーターは、京都府亀岡市と姉妹都市提携をしており、委員会のメンバーと日本からの留学生などを招いて市の公民館で毎月定例会が開催されています。1989年には市役所の隣に亀岡公園が造られたそうですが、警察署の設立に伴い、1999年に撤去されたとの事です。



在りし日のスティルウォーター亀岡公園入口

この9月にある不動産会社(Movoto R.E.)が行った調査では、スティルウォーターが全米391都市のうち10番目に幸せな小さな町(人口4.0から6.1万人)に選ばれました。この調査は、ストレス要因、犯罪数、所得、既婚率、住宅所有率、教育レベル、安全性を数値化してランク付けしたのですが、スティルウォーターはストレス要因の低さが際立っていました。市内には、毎年7月4日独立記念日の花火会場となるブーマー湖、ボーリング場、ジム、映画館、OSU 植物園、銀行、郵便局、総合病院、小中高校、裁判所、ショッピング

モール4ヶ所のほか、ウ

ォールマートが2店舗、アジアマーケット1店、スターバックスやアイホップ、パネラブレッドなどアメリカレストランチェーン店、中国人経営のヒバチ(鉄板焼パフォーマンス)、すしレストラン、パブなど何でも一様に揃っていて、小さな町ですが不自由することはありません。レストランの中で、スティルウォーターの代名詞となっているのが、ガイドブックにも必ず登場するエスキモージョー、OSUに隣接するこのレストランの名物はチーズフライ(フライドポテトにチーズとベーコンをトッピング)とハンバーガーというアメリカンレストランです。飲み物はロゴ入りプラスチックカップで提供されます。このカップ、お土産として持ち帰ることが出来るので、スティルウォーターの住人宅にお邪魔すると、キッチンや洗面所だけでなく、ペン立てやコイン入れとしてこのカップが利用されているのを必ず見かけます。ロゴ入りのTシャツなども人気で、スティルウォーターに住んだことがある人ならたいていこのTシャツを持っています。そして別の地域でこのロゴを見かけると、かなりの郷土愛を感じるそうです。



スティルウォーター名物、エスキモージョーとチーズフライ



オクラホマ州立大学(OSU)



オクラホマ州立大学は、農学部、学芸学部、教育学部、工学部、人間科学部、ビジネス学部、獣医学部とメディカルセンターを含む学生数約25,000人の州立総合大学で、附属農場を含め6km²の敷地面積を誇ります。スティルウォーターキャンパスのほかにオクラホマ市とタルサ市にそれぞれ小さなキャンパスがあり、OSUバスがそれぞれのキャンパスを随時往復しています。キャンパス内の治安はOSU警察が維持しています。スポーツでも有名で、中でもフットボール、バスケットボール、レスリングではたくさんのチャンピオンやプロ選手を輩出しています。近隣のオクラホマ大学とはライバル関係にあり、特にフットボールのOSUカウボーイズ対OUソーナーズ戦は、町を挙げて大いに盛り上がります。学問分野では、農学部が有名です(私も大学院時代はOSUのウェブサイトにある家畜品種図鑑によくお世話になりました)。現在のプ

プロジェクトで共同研究を行っているので、時々サンプルを届けに農学部へ顔を出していますが、はじめてこの大学を訪問したときに、その施設の充実ぶりに驚きました。卒業生からの莫大な寄付金(オイルマネー)が届けられているようで、たとえば図書館は地下1階、地上5階建てで、学生が自由に使える会議室や自習室も充実しています。学生会館には学務部のほかに、銀行、郵便局、レストラン12店、映画館、オクラホマ州随一の設備と言われる舞踏場まであります。私がよく利用するのは、4階建ての巨大なフィットネス施設、コルビンセンターです。そこには、トレッドミルとエアロバイクがそれぞれ30機以上、ジムマシン数十台、バスケットボールコート10面、バレーボール/バドミントンコート、ラケットボール8室、バーチャルゴルフ2機、競泳用プール、ダイビング用プール、競技用トラック、ダンススタジオ2室、道場3部屋、有酸素運動施設、ロッククライミング、シャワー&ロッカールームがあります。屋外にも競泳用プール、流水プール、テニスコート4面、体育館があり、これら全施設が学生と教員、大学関係者であれば早朝5:30から夜中12:00まで無料で利用することが出来ます。スタジオプログラムやダンスクラス、武術の稽古、ブートキャンプなども随時提供されていて、いつもたくさんの利用者が賑わっています。



オクラホマ州立大学学生会館

また、OSUはアメリカで最高のホームカミング(毎年秋に開催される大学を挙げての同窓会)を行う大学としても有名です。キャンパス内の道路には、紙と金網で精巧に作られた飾り家が軒を連ねます。金曜日の夜には、その飾り家と学生サークルのブースを訪ねて、全米から集まってきた卒業生、在校生とその家族らがキャンパス内を練り歩きます(ウォークアラウンド)。翌土曜日には、市内の交通を規制してのパレードが行われます。ホームカミングの週末には、スティルウォーターの人口が一気に8万人に上るといわれており、その大半の人々がOSUの大学色であるオレンジを身にまとっているので、町全体がオレンジ色に染まります。ホームカミングの当日はフットボールのゲーム開催日でもあり、夜通し町は賑わいます。今年のホームカミングゲーム、OSUは残念ながら敗戦でしたが、たくさんの卒業生たちで大いに盛り上がりました。



紙と金網で精巧に建てられた飾り家

この町に住んで3年、アメリカの大都市とはまったく違ったのんびりとした日々を送っています。私生活の大半をスティルウォーターで過ごしているので、友人もだいぶ増えました。私生活は、社交ダンス、ウエストコーススウィング、アルゼンチンタンゴ、サルサなどダンス三昧なのですが、OSUのLDCC(ラテンダンスカルチャークラブ)に所属していて、サルサやバチャタなどラテンダンスレッスンの手伝いなどもしています。スティルウォーターは、学生街らしく、賑やかさが時に度を越すような事件も起こりますが、基本的には安全で快適な町です。